

# Ⅱ 後志の農業概要

## 1 農業経営体数

農業経営体数は、高齢化や後継者不足などから年々減少しており、令和2年では平成12年に比べ2,049経営体(51.8%)減の2,203経営体となっています。

令和2年より、個人経営と団体経営に分かれ、法人経営は団体経営の中に含めています。



## 2 農家人口

農家人口は、農業経営体数と同様に年々減少しており、令和2年では平成27年に比べ販売農家で1,569人(19.7%)減の6,405人となっています。

農家人口に占める65歳以上の割合は年々増加しており、令和2年では平成27年に比べ4.5ポイント増の41.2%で、全道平均の37.2%を4.0ポイント上回り、高齢化が進んでいます。



## 3 耕地面積

耕地面積は、令和元年から横ばいになっていますが、昭和60年から比較すると、減少傾向となっています。

地目別では、畑の割合が75.3%と高くなっています。

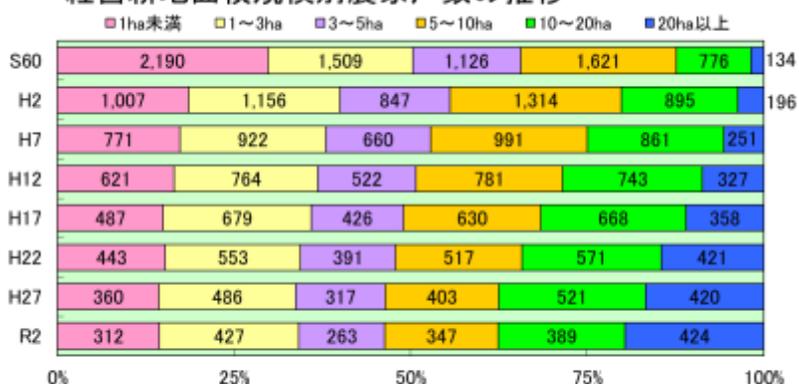


## 4 経営耕地規模別農家戸数の推移

経営耕地規模別の農家割合は、規模拡大傾向で推移していますが、平均12.4haと全道平均30.2haに比べると小さくなっています。

管内平均12.4haのため全道平均30.2haに比べると小さくなっています。

### 経営耕地面積規模別農家戸数の推移



注：H2以降は販売農家、H22以降は経営体数  
資料：農林水産省「農林業センサス」

## 5 新規就農者

新規就農者数は、近年では年間30人～40人程度で推移しており、令和3年は33人が就農しました。

内訳は、農外からの「新規参入者(22人)」が最も多く、続いて「学卒就農者(6人)」、農家出身者の「Uターン就農者(5人)」の順となっています。

### 新規就農者数の推移



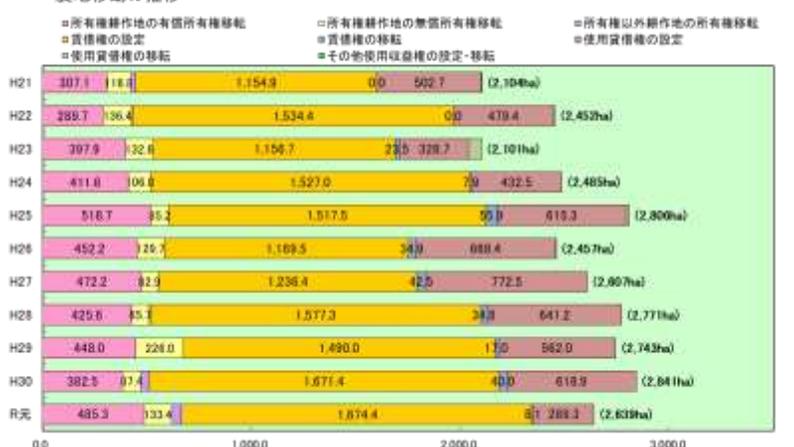
資料：後志総合振興局農務課調べ

## 6 農地流動化

農地の移動面積は、年によるばらつきがありますが、近年は2,500ha前後で推移しています。

令和元年の内訳は賃借権の設定、使用貸借権の設定が多く、この2つの権利設定によるものが全体の80%を占めています。

### 農地移動の推移



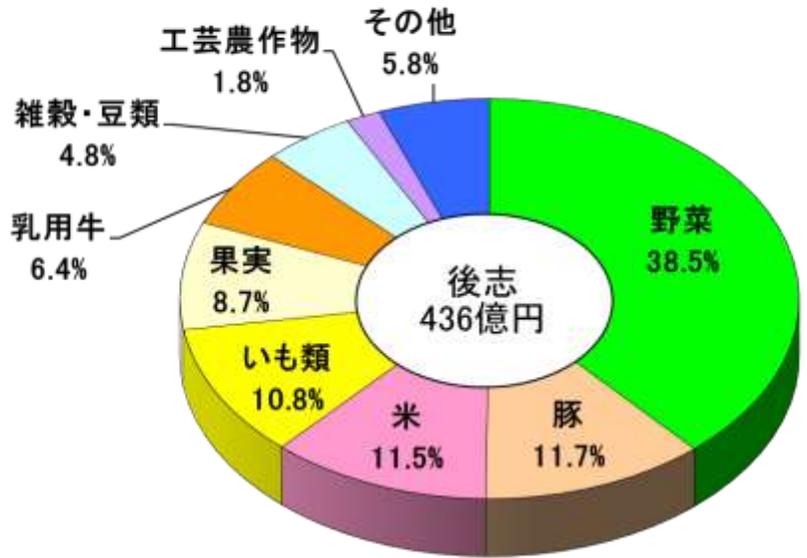
資料：「農地の移転と転用」北海道農政部農業経営局農地調整課 (ha)

## 7 農業産出額

農業産出額は、平成6年の523億円が最高で、令和2年は436億円となりました。

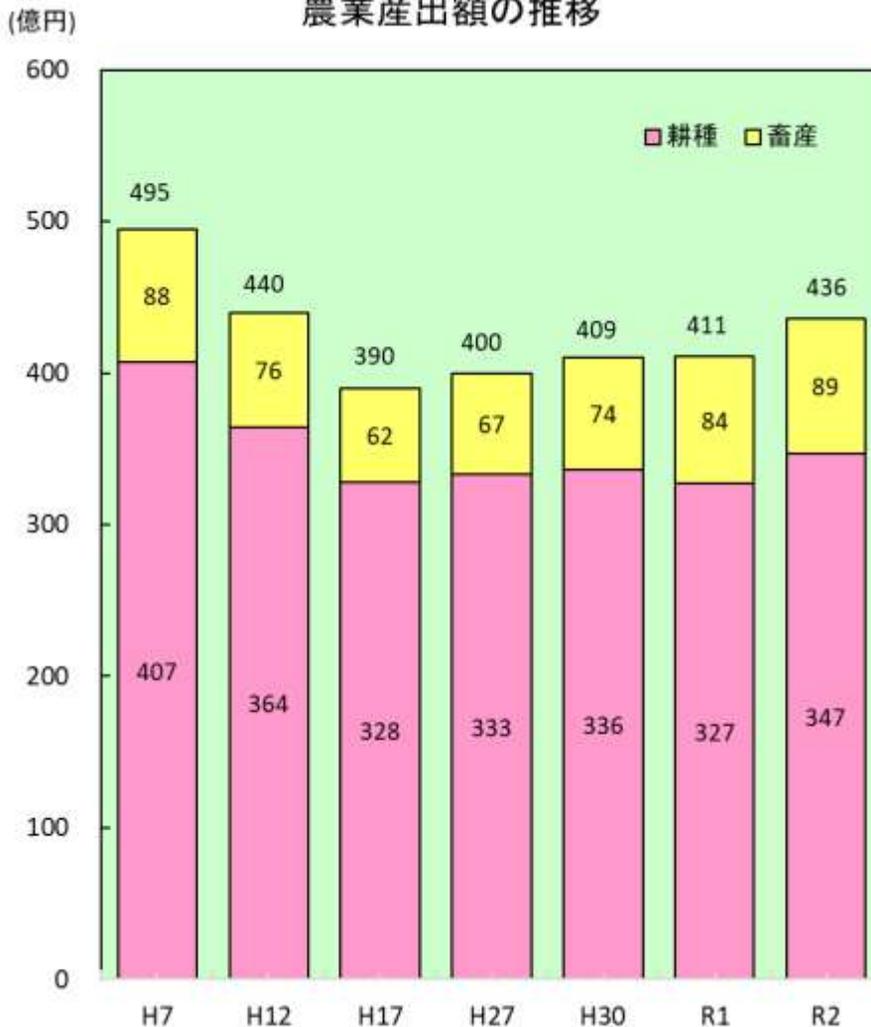
部門別では耕種部門が約8割を占め、野菜が38.5%を占めています。果実は8.7%ですが、全道の約5割を占め、管内農業の特色の一つとなっています。

### 農業産出額の内訳(R2)



資料：農林水産統計年報

### 農業産出額の推移



資料：農林水産統計年報